薬学部　ディプロマポリシールーブリック

		卒業時	4年次終了時		基礎的
		4	3	2	1
1．プロフェッショナリズム	【DP】 ・ 薬剤師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。 ・ 医療を実践するための法律やルールを遵守し、医療安全に配慮する。	**医療現場において、**もてる知識を統合し、学生薬剤師として相応しい責任感と倫理観をもって**患者や医療関係者と接し、患者や地域住民に医療を提供できる。**	**模擬的な医療環境において、**医療のプロフェッショナルを目指す学生としての責任感と倫理観を持ち、薬剤師としての責務を認識して**医療の提供をシミュレートできる。**	医療のプロフェッショナルを目指す学生として**薬剤師の責務を認識し、責任感と倫理観を持って行動できる。**	医療のプロフェッショナルを目指す学生としての責任感と倫理観を知り、医療系学生として相応しい行動ができる。
		4	3	2	1
2．コミュニケーション能力	【DP】 ・ 多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築くことができる。 ・ 患者や地域住民、医療関係者などとの間で、必要な情報の収集・提供を適切に行うことができる。	**医療現場や社会において、**患者・家族や地域住民、医療関係者など多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築き、相手の話を傾聴し共感的理解を示しながら（ナラティブ）、必要な情報の収集・共有・提供を**適切に行うことができる。**	模擬的な医療環境において、患者・家族や地域住民、医療関係者など多様な背景を持つ人々と**良好な人間関係を築き**、相手の話を傾聴し**共感的理解を示しながら（ナラティブ）**、必要な情報の収集・**共有**・提供を行うことができる。	**模擬的な医療環境において、患者・家族や地域住民、医療関係者**など多様な背景を持つ人々との良好な人間関係の構築を目指し、相手の話を傾聴しながら、**必要な情報の収集・提供を行うことができる。**	学生生活・カリキュラムにおいて多様な背景を持つ人々との良好な人間関係の構築を目指し、相手の話を傾聴し、わかりやすく情報を伝えることができる。
		4	3	2	1
3．患者中心のチーム医療	【DP】 ・ 医療を共に担う多職種の職能を相互に理解・尊重し、患者に関わる情報を共有できる。 ・ 多職種と連携・協力しながら薬剤師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践する。	**医療現場において、多職種と連携・協力**しながら患者に関わる情報を共有し、**薬剤師の専門性を発揮**して、患者中心のチーム医療を**実践できる。**	**模擬的な医療環境において、**他学部の学生と連携・協力しながら患者に関わる情報を共有し、**薬剤師の専門性を発揮して**、患者中心のチーム医療を**シミュレートできる。**	学生生活・カリキュラムにおいて、**他学部の学生と連携・協力**した上で、医療を共に担う多職種の職能を理解し、グループワークにおいては患者に関わる情報を共有し、**薬剤師の専門性を意識**しながら**チーム医療をシミュレートできる。**	学生生活・カリキュラムにおいて、医療を共に担う多職種の職能を知り、他学部の学生と連携・協力できる。。
		4	3	2	1
4　専門的実践能力	【DP】 ４－１　医薬品の調製、管理、供給 ・医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医薬品の調製、管理、供給を適切に実施できる。	医薬品の多様な特性と法的規制を理解したうえで、**医療現場において**医薬品の調製、管理、供給を**適切に実施できる。**	医薬品の多様な特性と法的規制を理解したうえで、**模擬的な医療環境において**医薬品の調製、管理、供給を**シミュレートできる。**	医薬品・化学物質の多様な特性と生体との相互作用を理解し、代表的な医薬品を法的規制のもとに**適切に取り扱う**ことができる。	医薬品・化学物質の代表的な特性や生体に関する基本的事項を理解する。
		4	3	2	1
4　専門的実践能力	【DP】 ４－２　薬物治療の計画・実践・評価 ・患者の病態とともに患者・家族の心理・社会的な背景を把握した上で、科学的な根拠と医薬 品の特性に基づいて、個々に適した薬物治療を実践できる。	**医療現場において、**患者・家族の心理・社会的な背景に配慮しつつ、病態を把握したうえで、科学的な根拠をもった安心・安全な**薬物治療を評価・計画・実践できる。**	**模擬的な医療環境において、患者・家族の心理・社会的な背景に配慮しつつ、**病態を把握したうえで、科学的な根拠をもった安心・安全な**薬物治療の評価および計画をシミュレートできる。**	与えられた模擬の患者情報に基づいて、**病態を把握し、科学的な根拠に基づいた適切な薬物治療の計画を立案できる**。	代表的な疾患の病態を理解し、薬物治療を実施するための基本的事項を理解する。
		4	3	2	1
5　社会的貢献	【DP】 医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、社会や地域における人々の疾病予防、健康回復・ 維持・増進と公衆衛生の向上に貢献できる。	地域の保健・医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、**薬剤師の役割（プライマリケア、セルフメ ディケーション支援、在宅医療等）を実践して、地域住民の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上に貢献できる。**	**模擬的な環境において、**地域の保健・医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、**薬剤師の役割（プライマリケア、セルフメ ディケーション支援、在宅医療等）をシミュレートできる**。	地域の保健、医療、福祉について、**現状と課題を認識し、地域住民の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上における薬剤師の役割と意義を理解する。**	地域の保健、医療、福祉について現状を理解し、薬剤師に求められる資質・能力を認識する。
		4	3	2	1
6　薬学研究と自己研鑽	【DP】 ・医療・薬学に関わる研究課題に取り組む科学的探求心を有する。 ・ 論理的、批判的な視点から医療・薬学に関わる問題を発見し、解決するための方策を提示できる。 ・ 国際的視野を持って最新の知識や技能、必要な情報を生涯にわたって獲得する意欲と態度を 有する。 ・ 医療における自らの行動を常に省察して、自己向上に努め	**・医療・薬学に関わる問題を自ら発見し、**最新の知識や技能、必要な情報を**活用して** 論理的、批判的な視点から解決するための方策を**習慣的に提示する。** **・医療現場において、**薬剤師の責務を認識した上で自ら目標を定め、実施内容を省察し、次の行動目標へ反映することができる。	**・最新の知識や技能、必要な情報を修得する技能を身につけ、**与えられた課題における問題点に対して**論理的、批判的な視点から解決するための方策を討議し、自らの考えとして文章にまとめることができる。** **・模擬的な医療環境において**、薬剤師の責務を認識し、自ら目標を定めて**実施内容を省察し、次の行動目標へ反映する**ことができる。	**・研究倫理と統計の知識を修得**し、基本的な研究手法と理論を**修得するとともに、**提示された課題について**討議・発表する。** ・薬剤師の責務を理解し、自ら医療のプロフェッショナルを目指す上での目標を考え、自己省察できる。	**・基本的な研究手法と理論を理解し、**提示された課題について調べる。 ・医療のプロフェッショナルを目指す学生として、目標を持って学生生活に取り組み、その行動を自己省察できる。
		4	3	2	1
7　アイデンティティー	【DP】 昭和医科大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	**医療現場・社会とのかかわり**において、自己省察に基づいた目標を立て、倫理的に配慮した行動を常に自ら実践することで**建学の精神（至誠一貫）を体現する。**	**模擬的な医療環境において、倫理的に配慮した行動**をとり**、建学の精神（至誠一貫）の観点から自己省察を繰り返し**、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。	**建学の精神（至誠一貫）に基づき、**自己と他者の違いを理解し、**他学部・他学年とのかかわり**等における自己目標を立て、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。	**建学の精神（至誠一貫）を理解し、友人との関わり等における自己目標を立て、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。**

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		資質の到達レベル	卒業時 4	4年次終了時 3	2	基礎的 1
1．プロフェッショナリズム	【DP】 ・ 薬剤師としての責務を自覚し、強い責任感と倫理観を持って、患者や地域住民に医療を提供できる。 ・ 医療を実践するための法律やルールを遵守し、医療安全に配慮する。	【CP】 薬剤師としての責務を認識し、倫理観を醸成するための授業科目（医療現場での体験実習を含む）を１年次から各学年で開講する。特に法規・規範を理解するための授業科目は２年次から開講する。授業で培った責務と倫理観をもって人間性豊かな医療を安全に実践する態度を身につけるため、４年次後期から附属病院および薬局において参加・実践型の臨床実習を行う。	**医療現場において、**もてる知識を統合し、学生薬剤師として相応しい責任感と倫理観をもって**患者や医療関係者と接し、患者や地域住民に医療を提供できる。**	**模擬的な医療環境において、**医療のプロフェッショナルを目指す学生としての責任感と倫理観を持ち、薬剤師としての責務を認識して**医療の提供をシミュレートできる。**	医療のプロフェッショナルを目指す学生として**薬剤師の責務を認識し、責任感と倫理観を持って行動できる**。	医療のプロフェッショナルを目指す学生としての責任感と倫理観を知り、医療系学生として相応しい行動ができる。

| 学年 | 第1学年 | | | | | | | | | | 第2学年 | | | | | | | | | 第3学年 | | | | | | | | | |

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		資質の到達レベル	卒業時 4	4年次終了時 3	2	基礎的 1
2．コミュニケーション能力	【DP】 ・ 多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築くことができる。 ・ 患者や地域住民、医療関係者などとの間で、必要な情報の収集・提供を適切に行うことができる。	【CP】 １年次は寮生活、初年次臨床体験実習（福祉施設訪問等を含む）、学部連携科目、教養科目、薬学専門科目などを通して多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を構築する。２年次からは、医療人として患者・家族、医療スタッフなどと適切に対応し、医療を実践するために必要な情報収集・提供能力を修得するために、コミュニケーション演習、PBL チュートリアルなどの授業科目において参加型学修（模擬患者を対象としたロールプレイ実習を含む）を行う。４年次後期から は、附属病院や薬局・在宅で患者や家族との面談・指導および他学部学生、多職種との連携を実践する多様な臨床実習を行う。	**医療現場や社会において**、患者・家族や地域住民、医療関係者など多様な背景を持つ人々と良好な人間関係を築き、相手の話を傾聴し共感的理解を示しながら（ナラティブ）、必要な情報の収集・共有・提供を**適切に行うことができる。**	模擬的な医療環境において、患者・家族や地域住民、医療関係者など多様な背景を持つ人々と**良好な人間関係を築き**、相手の話を傾聴し**共感的理解を示しながら（ナラティブ）**、必要な情報の収集・**共有**・提供を行うことができる。	**模擬的な医療環境において、患者・家族や地域住民、医療関係者**など多様な背景を持つ人々との良好な人間関係の構築を目指し、相手の話を傾聴しながら、**必要な情報の収集・提供を行うことができる。**	学生生活・カリキュラムにおいて多様な背景を持つ人々との良好な人間関係の構築を目指し、相手の話を傾聴し、わかりやすく情報を伝えることができる。

学年	第1学年													第2学年						第3学年								第4学年							第5学年																		第6学年					
授業形態	講義							演習				実習		講義	演習			実習		講義	演習				実習			演習				実習			演習																		実習 薬学研究 実践プログラム		演習	実習		実習 薬学研究 実践プログラム	
科目名	地域医療入門	チーム医療の基盤	ヒューマニティ	人の行動と心理	Freshman English	Paragraph Writing	English for Healthcare Comunication	基礎コミュニケーション	健康と運動の科学	健康とスポーツの科学	アカデミックスキルズ	初年次体験実習		薬学英語の基礎１	薬学英語の基礎２	コミュニケーション	キャリアデザイン	在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅡ	診療の流れを知る　実習	薬学英語１	薬学英語２	キャリアデザイン（循環器疾患）	薬と疾病チュートリアル２	学部連携チーム医療ＰＢＬⅡ・在宅ケア	急性期医療と薬剤師　実習	調剤・患者対応入門　実習	学部連携チーム医療ＰＢＬⅢ・在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅢ	薬と疾病チュートリアル（がん疾患）	ＥＢＭ演習	キャリアデザイン	薬と疾病チュートリアル　３	薬学研究入門	臨床実習事前学修	薬局実習	キャリアデザイン	アドバンスト薬学英語	アドバンスト薬学英会話	症候と疾患推測	臨床心理学の活用	臨床手技	臨床研究入門	病院実習１	精神医療実習	病院実習２	薬局実習	学部連携地域医療実習１・２	学部連携病棟実習	海外における薬剤師の役割を知る１・２	症例研究実践コース	基盤研究実践コース	アドバンスト薬学英語	アドバンスト薬学英会話	学部連携地域医療実習Ⅰ・Ⅱ	薬剤師の臨床判断	症例研究実践コース	基盤研究実践コース
資質の到達レベル (学年の目安)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	3	2	3	3	3	2	4	3	3	3	3	3	3	3・4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	3	4	4

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		卒業時	4年次終了時			基礎的
		資質の到達レベル	4	3	2	1
3．患者中心のチーム医療	**【DP】** ・ 医療を共に担う多職種の職能を相互に理解・尊重し、患者に関わる情報を共有できる。 ・ 多職種と連携・協力しながら薬剤師の専門性を発揮し、患者中心の医療を実践する。	**【CP】** 体系的・段階的な学部連携カリキュラムを全学年で実施する。１年次はチーム医療の基本を理解し、学生間の連携・協力の基盤を身に付けるために、寮生活のもと、多様な学部連携科目を開講する。２年次から４年次は、多職種間の相互理解と連携・協力をもとに、チーム医療を実施するシミュレーションとして、累進的に構成された学部連携PBL チュートリアルを各学年で開講する。４年次末から６年次には、患者中心のチーム医療を、医療現場で実践する能力を身に付けるため、附属病院・地域での臨床実習・学部連携実習を行う。	**医療現場において、多職種と連携・協力**しながら患者に関わる情報を共有し、**薬剤師の専門性を発揮して、**患者中心のチーム医療を**実践できる**。	**模擬的な医療環境において、**他学部の学生と連携・協力しながら患者に関わる情報を共有し、**薬剤師の専門性を発揮して**、患者中心のチーム医療を**シミュレートできる**。	学生生活・カリキュラムにおいて、**他学部の学生と連携・協力**した上で、医療を共に担う多職種の職能を理解し、グループワークにおいては患者に関わる情報を共有し、**薬剤師の専門性を意識**しながら**チーム医療をシミュレートできる**。	学生生活・カリキュラムにおいて、医療を共に担う多職種の職能を知り、他学部の学生と連携・協力できる。。

学年	第1学年							第2学年				第3学年								第4学年								第5学年										第6学年		
授業形態	講義			演習		実習		講義	演習	実習		講義	演習				実習			講義			演習			実習		実習・演習 ファーマシューティカルケア プログラム	実習							実習 薬学研究実践プログラム		実習	実習 薬学研究実践プログラム	
科目名	薬学への招待	ヒューマニティ	地域医療入門	チーム医療の基盤	基礎コミュニケーション	アカデミックスキルズ	初年次体験実習	薬剤師と医薬品に関わる法規範Ⅰ	コミュニケーション	在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅡ	診療の流れを知る　実習	薬剤師と医薬品に関わる法規範Ⅱ	社会保障制度と医療経済	薬剤師の使命	薬と疾病チュートリアル１（神経疾患）	薬と疾病チュートリアル２（循環器疾患）	学部連携チーム医療ＰＢＬⅡ・在宅ケア	調剤・患者対応入門　実習	急性期医療と薬剤師　実習	個別化医療	地域医療とプライマリーケア	放射性医薬品の利用と管理	学部連携チーム医療と倫理　ＰＢＬⅢ・ＴＢＬⅢ	ＥＢＭ演習	薬と疾病チュートリアル　３（がん疾患）	臨床実習事前学修	薬局実習	症候と疾患推測	臨床心理学の活用	医薬品の副作用・有害事象	臨床手技	病院実習１	精神医療実習	病院実習２	薬局実習	学部連携病棟実習	学部連携地域医療実習１・２	症例研究実践コース	薬剤師の臨床判断	学部連携地域医療実習Ⅰ・Ⅱ	症例研究実践コース
資質の到達レベル (学年の目安)	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	3	2	2	3	2	3	3	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		卒業時	4年次終了時		基礎的	
		資質の到達レベル	4	3	2	1
4　専門的実践能力	【DP】 ４－１　医薬品の調製、管理、供給 ・医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医薬品の調製、管理、供給を適切に実施できる	【CP】 医薬品の多様な特性と法的規制を理解し、医療現場で医薬品の調製、管理、供給の実践に必要な知識、技能、態度を修得するために、１年次より薬学の基礎知識を学び、学年進行に応じて医療への応用が修得できるよう、体系的かつ段階的に講義・演習・実習を実施する。これらの授業科目で身につけた能力を薬学共用試験（CBT,OSCE）で評価したのち、４年次末から附属病院と薬局で臨床実習を行う。	医薬品の多様な特性と法的規制を理解したうえで、**医療現場において**医薬品の調製、管理、供給を**適切に実施できる。**	医薬品の多様な特性と法的規制を理解したうえで、**模擬的な医療環境において**医薬品の調製、管理、供給を**シミュレートできる。**	医薬品・化学物質の多様な特性と生体との相互作用を理解し、**代表的な医薬品**を法的規制のもとに**適切に取り扱う**ことができる。	医薬品・化学物質の代表的な特性や生体に関する基本的事項を理解する。

| 学年 | 第1学年 | | | | | | | | | | | | | | | 第2学年 | | | | | | | | | | | | | | |

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		卒業時	4年次終了時		基礎的	
		資質の到達レベル	4	3	2	1
4　専門的実践能力	【DP】 4－2　薬物治療の計画・実践・評価 ・ 患者の病態とともに患者・家族の 心理・社会的な背景を把握した上で、科学的な根拠と医薬品の特性に基づいて、、個々に適した薬物治療を実践できる。	【CP】 患者の病態とともに患者・家族の心理・社会的な背景に関する情報を収集・把握した上で、科学的根拠と医薬品の特性に基づいて個々に適した薬物治療を計画・実践・評価する能力を修得するために、体系的・段階的なカリキュラムを全学年で実施する。１年次では臨床につながる薬学専門科目を配置し、２年次以降では、医薬品の特性と科学的根拠に基づいた薬物治療を実践する能力の基盤を涵養するために、疾患領域毎に基礎と臨床を統合した分野横断型の講義演習科目である「薬と疾病」をシリーズとして開講する。４年次末から６年次には、個々に適した薬物治療を実臨床で主体的に実践するため、附属病院・地域での臨床実習（最長12ヶ月）を行う。	**医療現場において、**患者・家族の心理・社会的な背景に配慮しつつ、病態を把握したうえで、科学的な根拠をもった安心・安全な**薬物治療を評価・計画・実践できる。**	**模擬的な医療環境において、患者・家族の心理・社会的な背景に配慮**しつつ、病態を把握したうえで、科学的な根拠をもった安心・安全な**薬物治療の評価および計画をシミュレートできる。**	与えられた模擬の患者情報に基づいて、**病態を把握し、科学的な根拠に基づいた適切な薬物治療の計画を立案できる。**	代表的な疾患の病態を理解し、薬物治療を実施するための基本的事項を理解する。

| 学年 | 第1学年 | | | | | | | | | | | | | | 第2学年 | | | | | | | | | | | | | |

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		卒業時	4年次終了時			基礎的
		資質の到達レベル	4	3	2	1
5　社会的貢献	【DP】 ・ 医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、社会や地域における人々の疾病予防、健康回復・維持・増進と公衆衛生の向上に貢献できる。	【CP】 医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、社会や地域における人々の疾病予防、健康回復・維持・増進と公衆衛生の向上に貢献するために、初年次より臨床体験実習（福祉施設訪問等を含む）や教養科目、学部連携科目、薬学専門科目を体系的・段階的に配置する。４年次末から６年次にかけての臨床実習において、地域での実践的学修を行う。	地域の保健・医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、**薬剤師の役割**（プライマリケア、セルフメディケーション支援、在宅医療等）**を実践して、地域住民の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上に貢献できる。**	**模擬的な環境において、**地域の保健・医療・福祉にかかわる社会的背景を把握し、**薬剤師の役割（プライマリケア、セルフメディケーション支援、在宅医療等）をシミュレートできる。**	地域の保健、医療、福祉について、**現状と課題を認識し、地域住民の疾病予防、健康回復・維持・増進と地域の公衆衛生の向上における薬剤師の役割と意義を理解する。**	地域の保健、医療、福祉について現状を理解し、薬剤師に求められる資質・能力を認識する。

学年	第1学年					第２学年								第３学年												第4学年												第5学年															第6学年			
授業形態	講義				実習	講義			演習			実習		講義					演習					実習		講義					演習					実習		演習	実習・演習 ファーマシューティカルケア プログラム				実習				実習 薬学研究 実践プログラム		実習	実習 薬学研究 実践プログラム		
科目名	漢方薬になる動植鉱物	薬学への招待	地域医療入門	チーム医療の基盤	初年次体験実習	個人・集団・社会と健康	微生物と感染症	生活環境と健康	薬剤師と医薬品に係わる法規範Ⅰ	生と死	在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅡ	キャリアデザイン	診療の流れを知る　実習	薬剤師と医薬品に係わる法規範Ⅱ	製剤設計	栄養と健康	医薬品化学物質の代謝反応	社会保障制度と医療経済	薬剤師の使命	薬剤師に求められる倫理観	学部連携チーム医療ＰＢＬⅡ・在宅ケア	キャリアデザイン	健康と環境　実習	急性期医療と薬剤師　実習	漢方医学の実践	日常生活と健康	個別化医療	地域医療とプライマリーケア	薬毒物と中毒	輸液と栄養	学部連携チーム医療在宅チーム医療と倫理　ＰＢＬⅢ・ＴＢＬⅢ	キャリアデザイン	臨床実習事前学修	薬局実習	キャリアデザイン	症例演習と薬物療法の実践	症候と疾患推測	医薬品の副作用・有害事象	症例研究入門	臨床研究入門	臨床手技	病院実習１	精神医療実習	病院実習２	薬局実習	学部連携病棟実習	学部連携地域医療実習１・２	症例研究実践コース	臨床研究実践コース	学部連携地域医療実習Ⅰ・Ⅱ	薬剤師の臨床判断	症例研究実践コース	臨床研究実践コース
資質の到達レベル（学年の目安）	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	2	2	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		資質の到達レベル	卒業時 4	4年次終了時 3	2	基礎的 1
6　薬学研究と自己研鑽	【DP】 ・医療・薬学に関わる研究課題に取り組む科学的探求心を有する。 ・ 論理的、批判的な視点から医療 ・薬学に関わる問題を発見し、解決するための方策を提示できる。 ・ 国際的視野を持って最新の知識や技能、必要な情報を生涯にわたって獲得する意欲と態度を有する。 ・ 医療における自らの行動を常に	【CP】 １年次から医療・薬学に関する研究課題に取り組む科学的探求心を養うために、薬学専門科目の講義・演習、実習を開講する。さらに高度な専門知識や研究手法、科学的根拠に基づいた問題発見・解決能力を修得するため、４年次から６年次には薬学研究および研究実践プログラムを配置する。また、研究論文発表会や学会等での発表を通じて、最新の知識や技能、必要な情報を生涯にわたって獲得する意欲と態度を涵養し、自己研鑽の土台を作る。	**・医療・薬学に関わる問題を自ら発見し、**最新の知識や技能、必要な情報を**活用して** 論理的、批判的な視点から解決するための方策を**習慣的に提示する。** **・医療現場において、**薬剤師の責務を認識した上で自ら目標を定め、実施内容を省察し、次の行動目標へ反映することができる。	**・最新の知識や技能、必要な情報を修得する技能を身につけ、**与えられた課題における問題点に対して**論理的、批判的な視点から解決するための方策を討議し、自らの考えとして文章にまとめることができる。** **・模擬的な医療環境において、**薬剤師の責務を認識し、自ら目標を定めて**実施内容を省察し、次の行動目標へ反映する**ことができる。	**・研究倫理と統計の知識を修得**し、基本的な研究手法と理論を**修得するとともに、**提示された課題について**討議・発表する。** **・薬剤師の責務を理解し、**自ら医療のプロフェッショナルを目指す上での目標を考え、自己省察できる。	**・基本的な研究手法と理論を理解し**、提示された課題について調べる。 ・医療のプロフェッショナルを目指す学生として、目標を持って学生生活に取り組み、その行動を自己省察できる。

学年	第1学年		第2学年			第3学年			第4学年		第5学年				第6学年		
授業形態	講義	演習	講義	演習	実習	講義	演習	実習	演習	実習	演習	実習・演習 ファーマシューティカルケア プログラム	実習	実習 薬学研究実践プログラム	演習	実習	実習 薬学研究実践プログラム
科目名	生物統計	薬学への招待 医療サイエンス演習	個人・集団・社会と健康	キャリアデザイン 在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅡ 生と死　演習 学修技法とステューデントデベロプメント	生理から病態へ　演習 物質の性質・　分析・製剤化と製剤試験法 医薬品の化学　実習 人体の成り立ちと機能　実習 生命体の成り立ち　実習	薬学英語１ 薬学英語２ 研究倫理と統計　演習 薬と疾病チュートリアル１（神経疾患） 薬と疾病チュートリアル２（循環器疾患） キャリアデザイン 学修技法とステューデントデベロプメント 学部連携チーム医療ＰＢＬⅡ・在宅ケア 健康と環境　実習	学部連携チーム医療と倫理　ＴＢＬⅢ 薬と疾病チュートリアル　３（がん疾患） キャリアデザイン 薬学研究入門 薬局実習	学修技法とステューデントデベロプメント 学部連携チーム医療ＰＢＬⅢ・在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅢ ＥＢＭ演習	キャリアデザイン 学修技法とステューデントデベロプメント アドバンスト薬学英語 アドバンスト薬学英会話 臨床心理学の活用 症例研究入門 臨床手技 病院実習１ 精神医療実習 病院実習２ 薬局実習 海外における薬剤師の役割を知る１・２ 学部連携病棟実習	基盤研究実践コース 臨床研究実践コース 症例研究実践コース	基盤研究実践コース 臨床研究実践コース 症例研究実践コース	アドバンスト薬学英語 アドバンスト薬学英会話 薬剤師の臨床判断	基盤研究実践コース 臨床研究実践コース 症例研究実践コース
資質の到達レベル (学年の目安)	1	1 1	2	1 1 2 1	1 1 1 1 1	2 2 2 2 3 2 2 3 2	3 3 2 3 3 3 4	3 3	3 3 3 3 3 3 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4	3 3 3 3 3 3 3 4 3 4 4 3 4 4 4 4	3 3 3	4 4 4	4 4 4

令和8年度　薬学部カリキュラムマップ（令和５年度以前入学）

		卒業時	4年次終了時			基礎的
		資質の到達レベル	4	3	2	1
7　アイデンティティー	【DP】 昭和医科大学の伝統を重んじ、その名誉を高めるために全力を尽くす。	【CP】 全学年にわたって実施する４学部連携教育やアイデンティティー教育により、本学の伝統や特長を認識し、昭和医科大学薬学部卒業生としてのプライドを持って医療に貢献する薬剤師を養成する。	**医療現場・社会とのかかわり**において、自己省察に基づいた目標を立て、倫理的に配慮した行動を常に自ら実践することで**建学の精神（至誠一貫）を体現する**。	**模擬的な医療環境において、倫理的に配慮した行動**をとり、**建学の精神（至誠一貫）の観点から自己省察を繰り返し**、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。	**建学の精神（至誠一貫）に基づき**、自己と他者の違いを理解し、**他学部・他学年とのかかわり**等における自己目標を立て、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。	建学の精神（至誠一貫）を理解し、友人との関わり等における自己目標を立て、その実現に向けて真心をもって全力を尽くす。

学年	第1学年						第2学年				第3学年										第4学年						第5学年												第6学年	
授業形態	講義				演習	実習	演習				演習										演習				実習		演習	実習・演習 ファーマシューティカルケア プログラム			実習				実習 薬学研究実践プログラム		実習	実習 薬学研究実践プログラム
科目名	地域医療入門	薬学への招待	チーム医療の基盤	ヒューマニティ	アカデミックスキルズ	初年次体験実習	キャリアデザイン	生と死	学修技法とステューデントデベロプメント	在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅡ	薬剤師の使命	薬と疾病チュートリアル１（神経疾患）	薬剤師に求められる倫理観	薬と疾病チュートリアル２（循環器疾患）	研究倫理と統計	学部連携チーム医療ＰＢＬⅡ・在宅ケア	キャリアデザイン	学修技法とステューデントデベロプメント	学部連携チーム医療　ＰＢＬⅢ・在宅チーム医療と倫理　ＴＢＬⅢ	薬と疾病チュートリアル３（がん疾患）	キャリアデザイン	臨床実習事前学修	薬局実習	キャリアデザイン	学修技法とステューデントデベロプメント	臨床心理学の活用	臨床手技	病院実習１	精神医療実習	病院実習２	薬局実習	学部連携地域医療実習１・２	学部連携病棟実習	症例研究実践コース	学部連携地域医療実習Ⅰ・Ⅱ	症例研究実践コース
資質の到達レベル （学年の目安）	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	2	2	3	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	4	3	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4